

循環型社会を目指して

キーワードは「^{アール}3R」

Reduce (リデュース) =ごみを減らすこと、出さないよう工夫すること

Reuse (リユース) =くり返し使うこと

Recycle (リサイクル) =原材料に戻して使う、別のものにして使うこと

わたしたちが生活している中で、毎日のように出るごみ。ごみ処理にはたくさんの費用がかかり、地球環境にも負荷を与えます。これからはごみを資源として活用していく「循環型社会（リサイクル社会）」へと移行していかなければなりません。循環型社会を実現するためのキーワードが「3R」です。

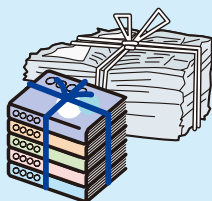
「3R」を実行することで、ごみを減らすことだけでなく、ものを大切に使い、出たごみはできるだけ資源として活用する、環境に優しい循環型社会に近づくことができます。



収集後のリサイクル

古紙類

製紙工場で水に溶かされ脱色されて、再び紙の原料（古紙パルプ）となります。古紙を利用した紙製品には、段ボール、洗剤箱やちり紙、トイレトーパー、マンガ本など数多くあります。



缶類

工場で溶かされて、新しい金属材料に生まれ変わります。スチール缶は、おもに鉄筋棒などの建設資材になります。また、アルミ缶は、アルミ缶などに再生されます。



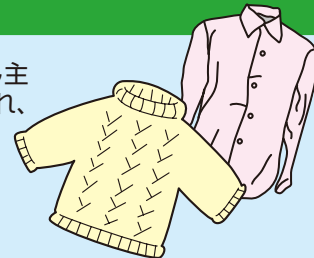
容器包装プラスチック

さまざまな処理により、パレットやプラスチック板、再生樹脂などとして材料リサイクルされます。



衣類・古布

種類別に仕分け（選別）し主に東南アジアなどへ輸出され、古着として再利用されます。



ペットボトル

さまざまな処理により繊維製品（カーペット、ワイシャツなど）や資材（土木用テント、垂れ幕など）、ペットボトル等に再生されます。



ガラスびん

びんには、ビールびん、1.8リットルびん（一升びん）など洗ってくり返し使用できるリターナブルびんと、ドリンクびんなど使い捨てとなるワンウェイびんとがあります。ワンウェイびんはカレット（ガラスびん原料）として新しいびんを作る原料になります。

